



仙台市科学館 蒲生調査レポート 速報版

No.465

2025.11.16

〒981-0903 仙台市青葉区台原森林公园4番1号
仙台市科学館 事業係
TEL:022-276-2201 FAX:022-276-2204
<https://www.kagakukan.sendai-c.ed.jp/>

11月のモクズガニ

■11月に採集した初めてのモクズガニ

七北田川河口で雄のモクズガニを採集した (Fig.1)。これまでの調査でモクズガニを観察・採集したのは5月～9月の暖かい時期であった。この時期は卵を持った個体や、繁殖行動後と思われる死骸を観察している。

モクズガニの成体は秋から冬にかけて上流から河口付近に降りてきて繁殖行動を行うという記述があるが、これまで蒲生干潟での調査では気温の低い時期には観察したことがなかった。今回採集した個体は弱った個体ではなく、力強く威嚇する個体であった (Fig.2)。



(Fig.1 モクズガニ)



(Fig.2 威嚇するモクズガニ)

■鉗脚（ハサミ）の毛の房の大きさは同じ

今回の調査で採集したケフサイソガニの仲間（雄）の鉗脚の毛の房は、外側・内側とも同じ大きさに見受けられる (Fig.3 4 同一の個体)。これはタカノケフサイソガニの特徴である。8月に採集・確認した個体もタカノケフサイソガニであった。来年の調査では多くのカニを採集し、ケフサイソガニ（鉗脚の毛の房が外側が小さく内側が大きい）が蒲生干潟に生息するのか確認したい。



(Fig.3 鉗脚の内側)



(Fig.4 鉗脚の外側)

(佐藤 賢治)